



# 第6回 武蔵野市子ども図書館文芸賞

自分が思い描いたこと、感じたことを表現し、発表してみませんか？

 **応募資格** 市内在住・在学の小中学生

 **募集内容**

<創作部門>

A 小説・童話・ずい筆

B 詩

<読書感想作品部門>


A 読書感想文

B 読書感想画・POP(ポップ)・本の帯



 **募集期間** 令和3年7月1日(木)～令和3年9月30日(木) <図書館必着・全部門共通>

※募集期間後に到着した作品は、例外なく選考の対象外となります。

 **選考・発表**

(1) 金賞・銀賞・審査員特別賞を選考します。(該当作品がない場合もあります)


受賞者には図書カード、応募者全員に参加賞を差しあげます。

※厳正で公正な基準に基づき審査を行います。審査・選考に関する問い合わせには応じられません。

(2) 受賞者は2月15日(火)に図書館ホームページ、むさしのキッズページ、市報で発表します。

受賞者には2月15日(火)までに受賞通知を送付します。表彰式は2月27日(日)を予定しています。また、すべての受賞作品は作品集に掲載され、館内に掲示する場合があります。

※作品集には応募原稿をそのまま掲載します(手書き原稿もそのまま掲載します)。応募の前にもう一度、誤字・脱字等がないかよく確認し、読みやすい字で清書してからご応募ください。

 **審査員**


◇創作A部門 山本 ふみこ(随筆家・元武蔵野市教育委員)

◇創作B部門 みなみ らんぼう(シンガーソングライター・元武蔵野市教育委員)

◇読書感想A部門 山花 郁子(児童文学作家・元読書の動機づけ指導講師)


山田 武雄(元武蔵野市教育委員会指導室長)

◇読書感想B部門 つだ なおこ(イラストレーター) 津田 隆彦(出版社代表)

 **応募方法**

(1) 応募用紙は、武蔵野市立図書館(中央・吉祥寺図書館、武蔵野プレイス)、各市政センターで配布しています。武蔵野市立図書館のホームページからダウンロードもできます。

(2) 応募用紙に必要な事項を記入の上、作品を添えて、各市立図書館まで持参、または問い合わせ先の中央図書館まで郵送してください。

 **問い合わせ先**

武蔵野市立中央図書館

〒180-0001 武蔵野市吉祥寺北町4-8-3 Tel.0422-51-5145

<http://www.library.musashino.tokyo.jp/>

(裏面あり)

## 応募のきまり

全ての作品はパソコン作成可とします。創作部門・読書部門Aは原稿用紙と同じ文字数設定でA4縦書きとします。

創作部門A ＜小説・童話・ずい筆＞	創作部門B ＜詩＞	読書部門A ＜読書感想文＞	読書部門B ＜読書感想画・POP・本の帯＞
小学生は2万字(240字詰め指定原稿用紙83枚)以内。 中学生は4万字(400字詰め指定原稿用紙100枚)以内。	内容・文字数の制限なし。 (小学生は240字詰め指定原稿用紙、中学生は400字詰め指定原稿用紙) <u>俳句・短歌は対象外。</u>	小学生は1,200字(240字詰め指定原稿用紙5枚)以内。 中学生は2,000字(400字詰め指定原稿用紙5枚)以内。	読書感想画：30cm×40cm以内。 POP：11cm×15cm以内。 本の帯：紹介する本に帯としてかけられる大きさ。
<b>【共通事項】</b> 対象図書は指定なし。ただし、マンガ本は対象外とし、武蔵野市立図書館発行の各種おすすめブックリスト（応募期間中、館内配布）から選ぶことを推奨する。			

(1) 1人につき各部門1点最大2点（創作部門から1点と読書感想作品部門から1点）まで応募できます。

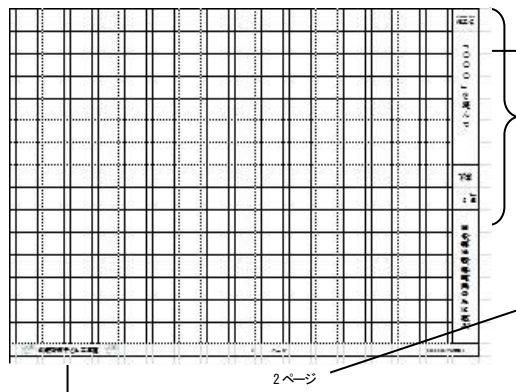
(2) 応募用紙には空欄がないように、必ず必要事項を記入してください。

※作品ごとに応募用紙が必要です。応募用紙に不備がある場合は、選考の対象にはなりません。

※匿名やペンネームでの応募はできません。

(3) 作品についての注意事項

- 作品は日本語で書かれた自作に限ります。他のコンクール等に応募した作品や自作ではない作品、共作は応募できません。感想画・POP・帯について、原作のイラスト（表紙絵や挿絵）や帯のキャッチコピーをそのまま使用した場合は自作とは認めません。
- 手書きの場合は指定の原稿用紙にHB以上の鉛筆またはシャープペンシルで書いてください。
- 原稿用紙面には作品名と学年のみを記入し、氏名は書かないでください。審査の公正を期すため、氏名は伏せて審査します。感想画・POP・帯は、応募用紙の裏面を使用せず、任意の規定サイズ以内の用紙を使用し、作品の裏面に作品名と学年のみを記入してください。
- 読書感想文の作品名は、『○○』を読んで（○○は読んだ本の題名）としてください。オリジナルの副題をつけても構いません。感想画・POP・帯については、作品名に読んだ本または紹介する本の書名を書いてください。
- 句読点は1字に数えます。改行のための空欄は字数に数えます。（パソコン作成にも適用）
- 全ての作品はパソコン作成可とします。



指定の原稿用紙の始めに、作品名と学年を書く。氏名は書かない。  
パソコンで作成する場合も、原稿用紙の始めに作品名と学年のみを書くこと。

2ページ以上になるときは、ページ番号を振る。

## その他

- 応募された作品は、館内に掲示する場合があります。
- 作品の著作権は市には帰属しません。ただし、応募された作品は返却しません。
- 記入された個人情報は、応募作品の受付・管理・審査結果連絡の目的以外には使用しません。